



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第56号

平成25年1月16日

河津町議会だより



薬師如来坐像



十一面観音立像



地藏菩薩立像



僧形坐像



天部立像



四天王立像



梵天立像



帝釈天立像



十一面観音立像



聖観音立像

南禅寺 平安仏像群

主な内容

- 新年のあいさつ..... 2 P
- 平成24年第4回定例会 他(抜粋)..... 3 P
- 町長の行政報告..... 4 P
- 一般質問..... 5~8 P
- 議会視察報告..... 9 P
- 議会の動き、私も一言..... 10 P



あけましておめでとうございます
本年もよろしく願い申し上げます

2013年 元旦



年頭のあいさつ

河津町議会議長 川下英一

あけましておめでとうございます。
町民の皆様には紙面より年頭の挨拶を申し上げます。
昨年九月末には町議会も新体制で後半の二年がスタートしました。十二月には永年の懸案であった「かわづいでゆ橋」の完成を祝う式典・渡り初めが行われ、町の一大観光イベント「河津桜まつり」の交通渋滞の緩和に期待するところです。新年二月に完成予定の「河津平安の仏像展示館」とともに新たな観光の拠点としてにぎわうことを望んでやみません。
昨年末には三年半振りに、総選挙が実施され政権与党も自由民主党に変まりました。選挙で争点となった原発は即時廃炉でなく、消費税は増税の方向に、そしてTPPは交渉参加を見合わせる方向で舵が切られました。伊豆半島各市町の投票数に出た期待を裏切ることなく国政にあたっていただき、安全・平和、国民の暮らしを守る活動に期待したいものです。

今年には県知事選挙、参議院議員選挙が控えています。国の方針は方針として私たちの静岡県、河津町はそれぞれの工夫・協力のもと更なる発展を目指し、経済不況を乗り越え、ともに後世に誇れる郷土づくりを進める必要があると考えます。どんな時代になろうとも私たちは先人が培った「河津」を愛し、平和で安心の郷土として未来に向けたさらなる発展に日々の努力を重ね、子々孫々の時代に渡す使命を改めて強く覚悟しなければなりません。

私たち議員共々、町民の皆様には更なるご理解・ご協力を賜り一丸となって今まで以上に精一杯知恵を絞り、汗をかき前進して行きたいと思っております。ぜひ、みんなの力で明るい一年にしようではありませんか。
全町民の健康とご多幸を祈念し新年の挨拶いたします。

平成24年

第4回定例会

12月11日～12日

河津平安の仏像展示館の指定管理を谷津区に

◎議決案件

○教育委員の任命

榎本良治氏退任にともない横山宥久氏を任命同意（全員賛成）

○固定資産評価審査委員会委員の選任

久保田幸彦氏退任にともない清水敏男氏の選任同意（全員賛成）

○専決処分 平成24年度一般会計補正予算（第6号）

衆議院議員選挙にともない歳入歳出それぞれ7,160千円を追加承認（全員賛成）

○防災会議条例の一部を改正

国の防災法令改正により（全員賛成）

○災害対策本部条例の一部を改正

災害対策基本法改正により（全員賛成）

○消防団条例の全部を改正

現在の消防団組織運営の為（全員賛成）

○観光施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

河津平安の仏像展示館を加える（全員賛成）

○河津平安の仏像展示館の指定管理者の指定

谷津区に指定する（全員賛成）

○町道路線の認定

田中バイパス開通にともない田中成田線の路線認定（全員賛成）

○平成24年度一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ14,925千円を追加（全員賛成）

○平成24年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ77,182千円を追加（全員賛成）

○平成24年度介護保険特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ339千円を追加（全員賛成）

○選挙管理委員の選挙

議長指名推薦により選出（全員賛成）

○選挙管理委員補充員の選挙

議長指名推薦により選出（全員賛成）

○議員派遣の件

会議規則第120条の規定により（全員賛成）

○議会運営委員会の閉会中の所掌調査

会議規則第75条の規定により（全員賛成）

平成24年

第3回臨時会

11月13日

◎議決議案

○下田地区消防組合を組織する地方公共団体の増加及び規約の変更

下田地区消防組合に西伊豆町及び松崎町が加入のため、下田地区消防組規約を変更する（全員賛成）

○平成24年度一般会計補正予算（第5号）

谷津地区観光施設整備工事費補正のため、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,000千円を追加（全員賛成）

○議員派遣の件

自然エネルギーを活用したまちづくり推進のため、小水力発電・太陽光発電の視察研修に派遣（全員賛成）

平成24年 第4回定例会

(抜粋)
12月11日～12日

町長の行政報告



●平成25年度予算編成方針

負担を先送りせず規律ある財政運営を堅持しつつ、重点的にテーマを設定した。

テーマ①災害対策事業②子育て支援③観光振興④食農の地域活性化⑤伊豆縦貫道を活かした地域振興。

●平成24年度表彰

功労表彰 土屋 榮 一氏
篤行表彰 (故)大野なほみ氏

●災害対策事業

津波対策、城山城跡公園の遊歩道を拡幅し避難路に利用できるよう工事に着手する。

縄地・梨本・大鍋・小鍋にろ水機と非常食を配備した。

下田、西伊豆地区消防救急広域化は4月の統合にむけ進めていく。

12月2日地域防災訓練は沿岸部津波避難訓練等実施。参加は2,396人。中・高校生は316人が参加し、地域での訓練に取り組んだ。

大災害が発生した際、公共土木施設等の災害復旧業務を迅速に進めるため、県

測量設計協会及び県地質調査協会と業務協定を締結した。

●子育て支援

「子育てファミリー住宅整備支援事業」は県より300万円の補助金追加。

●観光振興事業

キャンペーンは9月東京で伊豆急・東伊豆町と合同で実施。11月は浜松・名古屋で実施。

都市農村交流事業は10月「江東区民まつり」、11月「渋谷区しみのひろば」に参加。

ジオパーク推進事業は七滝に解説看板の整備に着手。

●町政要覧の作成

(株)エイエイピーが1,449千円で落札、契約。町政55周年にあわせての計画で平成25年完成予定。

●再生可能エネルギー事業

エコリゾートタウン協議会をたち上げ、上佐ヶ野公民館横の水路にマイクロ水力発電設備の設置を決定。

●東河環境センター

11月、管理者に持込みゴミ手数料、種別ゴミ統一手数料改定の答申が出された。

●高齢者等見守り事業

高齢者や単身世帯の見守り等の仕組みを12の事業所と協定を締結し町ぐるみでシステム構築を考えていく。単身世帯には救急医療情報

キットを配布(詳細は保健福祉課)

●温泉事業

見高入谷高原温泉の温度低下は調査を依頼し原因報告を受けた。見高入谷区と協議し今後の対応を検討する。

踊り子温泉会館は11月には1,000人余の利用者増。

●道路水道関連事業

田中バイパスの供用開始。

12月22日開通式が行われた。

浜峰線舗装工事は丸三工業(株)が8,851千円で落札、契約。

居家坪比咩宮線舗装補修工事は世紀東急(株)伊東営業所が4,935千円で落札、契約。

川津筏場矢野宮田線道路改良工事は東海建設(株)が18,060千円で落札、契約。

萩ノ入1号線舗装補修工事は世紀東急(株)伊東営業所が3,339千円で落札、契約。

大堰笹原線道路改良工事に伴う測量・設計業務委託は静岡コンサルタント(株)が7,650千円で落札、契約。

笹原浜4号線道路施設改修工事は(有)加畑組が1,932千円で落札、契約。

縄地送水管布設替工事は(有)寺林工務店が21,399千円で落札、契約。

川横配水池水道管接続工事は東海建設(株)が13,912千円で落札、契約。

一般質問

人口の減少対策は

質問…生産人口の減少、特に一次産業の減少が目立つ。一次産業の生産物を利用し加工事業、宿泊施設、飲食店との連携など総合的バックアップが必要。人口減少の財政シミュレーションはあるか。

町長…少子高齢化、生産人口の減少と大きな課題である。施策とし子育て支援の充実、一次産業も含め各産業の活性化対策の推進に取り組んでいる。生産物を六次産業化の考え方も含め、第4次総合計画の目標に

向って努力する。

産業振興課長…耕作放棄地の活用(キウイ栽培)個人での取り組み。漁業経営振興会の朝市定期開催、イベントへの参加。一次産業の取り組みもあり、今後の活動に期待している。

総務課長…人口減少の長期的財政シミュレーションは国の税制制度など変化する状況もありむずかしい。ただし、基礎資料は必要なので、数年間の中期的財政見通しはしていく。

地域ブランド認定事業の取り組み

質問…河津の特産品を使って、生産品、菓子、加工品、食事など、河津ブランドをつくり、河津町の地域ブランド品を認定する事により、観光事業にも一般市場の競争にも良い影響がでると考えられるが認定事業に取り組むか。

町長…地域資源を生かしたまちづくりにつながる事業と考えられる。商工会等も取り組んでいるので、町へ

提案をいただき認定ブランドのPR活動、販路づくりの支援など協力したい。

産業振興課長…具体的に動いているものとして、河津桜をイメージした香水、河津グルメ&魅力発信プロジェクトと活動が見られます。地域振興には重要な取り組みと考えますので、町に提案をいただき支援をしていきたい。

伊豆縦貫道の事業対策を

質問…工事のスケジュールの情報は。

道路開通にともなう産業の活性化対策、事業計画は。

町長…平成25年度に用地の説明会、測量、買収をし、26年度に工事着工のスケ

ジュールと聞いている。縦貫道を生かした地域振興は大切な事なので、残土処理等も含め調査研究をし、地域政策に取り組みたい。



渡邊 弘 議員

踊り子温泉会館運営は

質問…湯の町河津の牽引者の役割の施設とし、温泉かけ流し等魅力ある施設運営が必要である。については支配人制度の導入により収支予算、決算、営業施策等、責任者が必要と考えるがどうか。

町長…温泉会館あり方検討委員会の提言で、町外からの集客の核施設とともに、町民憩いの場の機能があるとありました。今後は町営施設ですので、収支にも十分注意し運営に当たります。

産業振興課長…現在全員臨時職員で対応している。支配人的職員は施設の保守管理、サービスの提供をしている。今後の運営組織は総合的な側面から考えている。又、他の観光施設同様に、指定管理制度の活用も研究している。



リニューアルした踊り子温泉会館

放課後児童クラブの今後は

町長－子育て関連施設の新しい整備構想を考えたい

質問…放課後児童クラブの運営内容は。

町長…スタート時は10名程であったが現在は20名を超える。保護者に喜ばれていると認識している。

保健福祉課長…クラブは月曜日～土曜日まで。平日は授業終了から午後6時まで。土曜・長期休暇は午前8時から始まる。児童は1・2・3・5年生約20名が通う。指導員は1名、常勤臨時2名、非常勤臨時2名で運営している。

活動は運動や遊び、読書など。季節の行事や遠足等の野外活動も取り入れている。保護者とは直接面談、連絡帳、たよりの発行等で意見交換をしている。指導員日記をつけている。

質問…学校との連絡、安全対策、衛生面等他機関との連携はどうか。指導員の研修は行われているか。

保健福祉課長…保険に加入している。防災避難場所は南小に決めてある。保育園、



放課後児童クラブのロッカー

幼稚園、小中学校とは随時連絡をとっている。医療機関は今後考える。指導員研修は今年度1名参加。

質問…将来的目標は。

町長…現在の場所は手狭になっていると考える。子育てサロンも同様に考える。関係施設の集約化を含め新しい施設整備構想の策定にかかりたい。

鳥獣被害の現状は

産業振興課長－生活圏への被害も多く聞かれる

質問…鳥獣の被害は数々の分野とも関連している。耕作放棄地解消の問題、更には農業振興の立場、又担い手の育成、人口の問題等々被害防止対策に本気で取り組んでほしい。今年度の箱ワナ等駆除の成果はどうか。

産業振興課長…害獣の駆除申請は31件（12月4日現在）。その実績は猪・鹿・猿で182頭、昨年より2割増。防護柵の補助申請も40件で昨年より増。51基の貸し出し罠の成果は9月末で67頭。今夏JA主体の捕獲頭数町内分を合計すると120頭以上の数字。

質問…担当職員の増は考えられるか。



小林和子 議員

町長…増はできない。民間の協力、JAとの共同委託、猟友会への委託等をお願いして対応していく。

質問…25年度に新しい体制がとれるか。

産業振興課長…9月に県の「鳥獣被害対策実施隊の概要」について勉強会があった。内容は、鳥獣被害防止特別措置法が改正され実施隊が整備できる。その活動経費は特別交付税で措置されると。実施隊は市町職員も含め非常勤の公務員として活動を求める構成。その具体的活動は鳥獣の捕獲、追い払い、侵入防止柵の設置など被害防止対策に従事するというようになっている。賀茂地区ではまだ設置されてないが1市5町今後の研究材料としていきたい。



箱ワナにかかった猪

予算の執行と編成は

町長－ローリングを経て3月に提案

質問…24年度の予算執行状況はどうか。現状をしっかりと分析する事が次年度予算を良くすることだ。重点項目の中で、①学校の改修計画。②再生エネルギーの推進。③国民宿舎整備検討計画はどうか。

教育委員会事務局長…学校建設は昭和55年度に始まり、すでに30年以上経過した施設もあり、老朽化が著しい。来年2月26日を目途に改修計画を委託している。

まちづくり推進課長…再生可能エネルギーについては、7月に県と協定書を結び、エコタウン推進協議会を設置し、検討を進めている。本年は、マイクロ水力発電施設を上佐ヶ野公民館横に作る。

国民宿舎検討事業については、27年度に耐震化の完了が目標。総合設計事務所と業務委託契約を締結した。今、上河津財産区と協議中である。その協議を終えたら、国民宿舎整備検討委員会を立ち上げる予定。

質問…学校については、単なる修繕計画でなく、クラブ活動や成長の為の質的・人的支援を考えたらどうか。再生エネルギーで言えば、せつかく県との共同事業である。河川法の法律改正もされた。実が取れるように

考えたらどうか。

宿舎についても、バガテル公園の経営面や地域経済の縮小という側面からも検討されているか。

町長…学校については、町の臨時職員や外国語講師の派遣など幅広く子供の教育にかかる施策をしていく。再生エネルギーについては、まちづくりの一環である。鳥獣被害対策に活用したい。

25年度予算基本方針の考え方は

町長－各方面の意見をききながら

質問…基本方針にある5項目の中から、①子ども・子育て支援。②観光・交流産業の育成。③食と農業による地域活性化について。どのような考えでこれらを重点としたのか。

重点テーマ

1. 地震・津波対策をはじめとする災害対策の強化
2. 子ども・子育て支援
3. 観光・交流産業の振興
4. 食と農業による地域の活性化
5. 伊豆縦貫自動車道（河津下田道路）を活かした地域振興

町長…子ども・子育て支援については、子供は町の宝という基本認識。この8月に成立した、子ども・子育



土屋 貴 議員

て支援法がある。町の責務も明確にされている。24年度に引き続き取り組む。

観光・交流産業の振興については、本年9月に伊豆半島が日本ジオパークに認定された。七滝の整備やサンシップ今井浜の跡地利用に取り組む。

食と農業による地域活性化については、農業の6次産業化、地産地消、地域ブランド等に積極的に取り組む。

質問…子育てで言えば、県の支援も来年度3年目である。やる以上は徹底的に推進すべきだ。

観光についても、七滝のつり橋の完成や花菖蒲園の再開園など材料は多い。ジオについても七滝観光センターにジオの拠点置き情報発信につとめるべきだ。

農業の活性化については、人と組織の核づくりから始めないと地域ブランドの確立は難しいと思うがどうか。

町長…七滝観光センターにジオサイトのビジターセンター設置等を考えている。予算提出までによく検討する。

『国民宿舎かわづ』の改装予定は

町長－改装予定はない

質問…改装しないとお客様のニーズに対応できない。お客様の不満が蓄積してゆくと考えられる。平成28年3月までに耐震構造としない場合は取り壊しとなると思うが。

町長…建物の所有が上河津財産区の所有であるから、そのような状況を踏まえて改修すべきでない。

50周年記念行事は

質問…昭和38年10月オープ

ン以来満49年が経過した。来年は50周年を迎え節目の年である。感謝祭を行うべきと思うが。

町長…温泉利用者が80人ぐらいいるので源泉感謝祭を行うのであれば今後検討したい。

解体費用は

質問…国民宿舎運営基金の積立金は2,311万円である。解体はアスベストの処理で費用がかさむと予想される。



国民宿舎かわづ



坪井弘司 議員

費用負担はどのように考えるか。

町長…早急に概算費用を算出したい。技術的な部分も含めて支援しなければならない。

建設費用が10億円の場合資金の調達は

質問…基金も旧湯ヶ野荘跡地の土地取得、毎分52.5℃の温泉掘削に成功したが費用負担がかさんだため手持ち資金がわずかとなった。またさらに残高を取り崩す事となり手持ち資金はなくなる。補助金起債等で例えば10億円資金手当ができるかと建設に向けて前進するが資金手当の方法はあるか。

副町長…一般的には自己資金。補助金、起債、借金となる。河津町の財政規模では起債制限額は運営自体が保証されれば最大3.5億円となる。

整備検討委員会のメンバーは

町長…構成は財産区・湯ヶ野区・上地区全体・観光関係諸団体としたい。

議員研修

家中川小水力市民発電所

11月27・28日に山梨県都留市にある家中川水力市民発電所・甲府市にある米倉山太陽光発電所に視察研修を行いました。

都留市は、「エコロジカル・バランスタウンつる」を目指し、行政と市民が一体となり、新エネルギーの活用と環境美化に取り組んでいる。平成18年度稼働「元気くん1号」は、最大出力20kw。総費用4,300万円余。

平成22年度稼働「元気くん2号」は、最大出力19kw。総費用6,200万円余。

平成24年度稼働の「元気くん3号」は、最大出力7.3kw。総費用3,500万円余。

1号は大型の開放型下掛け水車。2号は中型の開放型らせん水車とそれぞれが特色を持っていた。

ランニングコストは、ほとんどかからず、発電機1基につき年間約15万円程度であり、非常に高効率な発電方式であった。発電した電力は、市役所で利用され、電気料金の3割をまかっている。

水力発電事業を通じて、河川のゴミ対策が課題となり、設置地域との環境美化も改善された。さらに、「つるのおんがえし債」という公募公債を発行した。1号の発行総額1,700万円、利率

0.9%。2号の発行総額2,300万円、利率0.7%である。

豊かな環境を守り、育て、

積極的に活用し、市民のライフスタイルを確立する挑戦といえる。



元気くん1号

米倉山太陽光発電所

山梨県と東京電力(株)が共同で建設された施設である。県が土地と整備を行い、東電が発電所を建設し運転・保守管理を行なっている。

総敷地面積は45haと広く、太陽光パネルも約8万枚と膨大であった。地面に直置となっており、角度は10度で設置されていた。太陽光パネルは、最新型であり、

従来比8%upのパネルが使われている。発電量は、一般家庭3,400軒分である1,200万kwアワーである。

山梨県は、「次世代エネルギーパーク」の考えの基に、太陽光発電・水力発電・バイオマス熱利用・燃焼電地に積極的に取り組む一環として、米倉山太陽光発電所を作ったという。いずれにしても、施設の大きさに圧倒された。



米倉山太陽光発電所全景



川下英一 議長

議会の動き

＜議長の活動＞

- 10月・県町村議会議長会定期大会（静岡市）
- 10月・群議会議長会
- 10月・群議会議長会研修会
- 10月・地方議会連絡協議会政策研修会
- 11月・全国議長大会(東京都)
- 11月・山形県最上郡議長会視察来町
- 12月・県市町駅伝競走大会

＜町議会の活動＞

- 11月・議員説明会
- 11月・全国育樹祭式典
- 11月・暴力追放・銃器・薬物根絶住民大会
- 11月・河津町社会福祉大会
- 11月・議員視察研修
- 10月～12月・議会広報委員会（誌面作成、編集、更正）
- 11月・県議会広報研修会
- 12月・平成24年第4回定例会
- 9月～11月・例月出納検査報告書の受領（8・9・10月分）
- 12月・議会運営委員会

＜一部事務組合＞

- 10月・東河環境センター組合議会
- 10月・下田地区消防組合議会臨時会
- 12月・東河環境センター組

- 合議会全員協議会
- ＜町の行事＞
- 10月・町民体育大会
- 10月・ふれあいまつり

- 11月・戦没者招魂祭
- 11月・河津町表彰式
- 11月・青少年の主張大会
- 12月・地域防災訓練

～私も一言～

河津を思う

歴史ある第23代「ミス伊豆の踊り子」に任命され、2ヶ月が経ちました。20歳で初めて河津町に訪れたとき、有名な文学作品「伊豆の踊り子」像の背景に美しい「初景滝」を見ることができ、文学、歴史と壮大な自然に同時に触れる事ができるのは、日本中探しても河津町だけではないかと感動しました。またその時は、道に迷った私に河津町の方が親切にお声を掛けて下さいました。広島から東京に出てきた私にとって、他人に閑知しない都会での生活は、人も風景も冷たく感じていましたが、河津町を訪れると、温暖なのは気候だけではなく、人も温かく、気持ちがほっと和みます。河津町を離れ一人列車で帰るときの気持ちは、毎回淋



ミス伊豆の踊り子

高藤有沙さん（東京都）

しく感じるのですが、同時に心が洗われたような気持ちにもなれます。それは川端康成の小説「伊豆の踊り子」の主人公が汽船で感じた気持ちと重なります。そして2ヶ月が経った今、河津町は私にとって第二の「ふるさと」のような存在になっています。海、川、温泉の豊かな自然に恵まれた花の町「河津町」の良さを多くの人に知って頂き、訪れていただけるよう伊豆の観光活動に努めています。

2月5日からは河津町の一大イベント「河津桜まつり」が開催されます。私自身も参加をし、精一杯盛り上げて参ります。

編集後記

新年おめでとうございます。私達広報委員も新たなメンバーで担当します。議会の動き、町の動きが町民の皆様に読みやすいようにしたいとがんばります。2月には町の一大イベント河津桜まつりが始まる。多くの来客を期待したい。（萩原）